

第 37 回日本臨床細胞学会 北陸連合会学術集会

プログラム

世話人 石澤 伸

(富山県立中央病院病理診断科)

期日：令和3年9月5日（日）13：00～17：00

会場：Webinar（富山県立中央病院 5F ホール）

主催：日本臨床細胞学会北陸連合会

プログラム

スライドセミナー 標本鏡検 (北陸連合会 HP: <https://www.jssc-hokuriku.com/>)

11 : 00 学会賞選考委員会 (Zoom 会議)

11 : 30 幹事会 (Zoom 会議)

12 : 55 開会の辞 富山県立中央病院病理診断科

石澤 伸

13 : 00~13 : 40 一般演題 (I) 座長 富山県立中央病院

病理診断科 内山 明央

13 : 40~14 : 10 一般演題 (II) 座長 富山大学医学薬学研究部

病態・病理学 濱島 丈

14 : 15~14 : 30 総会

14 : 30~14 : 45 休憩

14 : 45~15 : 45 特別講演 座長 富山県立中央病院

病理診断科 石澤 伸

「尿細胞診における尿路上皮癌の異型度判定を考える」

村田 晋一 先生 (和歌山県立医科大学・人体病理学教室／病理診断科)

15 : 45~16 : 00 休憩

16 : 00~17 : 00 スライドセミナー 座長 富山市民病院

病理診断科 齋藤 勝彦

17 : 00 閉会の辞 富山県立中央病院病理診断科

石澤 伸

12 : 55 開会の辞

石澤 伸 (富山県立中央病院病理診断科)

13 : 00~13 : 40 一般演題 (I)

座長 内山 明央 (富山県立中央病院病理診断科)

1. 腫瘍マーカーの急上昇を契機に発見され、診断に苦慮した肺癌術後再発の1例

藤野 匡、小嶋洋美、梅原瑠子、山岸 豊、鈴木啓仁、松田愛子、黒瀬 望、川島篤弘

国立病院機構 金沢医療センター 臨床検査科

60歳代女性。X-3年7月、左肺腺癌(Stage I B)の切除術施行。術後短期間UFT内服を行うも血液毒性にて中止。1年6ヶ月後、CEA上昇。1回目PET-CTではS状結腸に集積を認め、後日EMRで早期大腸癌が切除された。その後CEAに加えてCA19-9も上昇。以降5回目までPET-CTを施行するが、有意な集積なし。X年10月、左胸水の増量を認め、E-VATS施行。術中の胸水細胞診と胸膜生検で腺癌と診断された。肺内に腫瘤形成はないが、ようやく肺癌胸腔再発の診断に至った。

2. 免疫細胞化学が診断に有用であった唾液腺分泌癌の1例

黒川綾子¹⁾、小川 哲¹⁾、新谷慶幸¹⁾、大西博人¹⁾、水口聖哉¹⁾、鮎岡加奈¹⁾、都竹遥¹⁾、吉谷久子¹⁾、湊 宏²⁾、車谷 宏²⁾、片柳和義²⁾、吉川あかね²⁾
石川県立中央病院 ¹⁾ 医療技術部検査室、²⁾ 病理診断科

分泌癌の診断に免疫細胞化学が有用であった症例を経験したので報告する。症例は47歳男性。左耳下腺浅葉に嚢胞状腫瘍を指摘され、穿刺吸引細胞診が行われた。Pap染色で腺房細胞癌と分泌癌との鑑別が問題となり、LBC標本の免疫染色でPan-Trkとmammaglobinが陽性であったため、分泌癌と診断した。LBCはギムザ染色を作成できないのが欠点だが、免疫染色を行い確定診断に繋げることができるという利点がある。今後、細胞診免疫染色の保険収載を期待する。

3. Ectopic hamartomatous thymoma (biphenotic branchioma) の1例

村元暁文¹⁾、平野かおり²⁾、横川伊都子²⁾、今村好章¹⁾

¹⁾福井大学医学部附属病院 病理診断科/病理部、²⁾JCHO 福井勝山総合病院 臨床検査科

【症例】60歳代男性。約20年前より左頸部腫瘍を自覚していたが、最近増大傾向を認めたため受診。細胞診施行後左頸部腫瘍切除術が施行された。【細胞所見】異型の目立たない腺上皮と扁平上皮が散見された。少数の紡錘形細胞も認められた。【病理所見】最大径40mm大の境界明瞭な結節であった。組織学的には扁平上皮・吻合状上皮細胞索および紡錘形の上皮細胞がみられ、成熟脂肪細胞が種々の程度に混在していた。

4. 超音波内視鏡下で得られた淡明細胞型腎細胞癌の臍転移の1例

小梶恵利¹⁾、木屋千恵子¹⁾、浜田桂司¹⁾、井村穰二^{1),2)}

¹⁾富山大学附属病院 病理部 病理診断科、²⁾富山大学 学術研究部医学系 病理診断学講座

症例は50歳代女性。7年前に腎癌の既往あり。臍体部に15mm大の境界明瞭な類円形定エコー腫瘍を認め、超音波内視鏡下穿刺吸引が施行された。細胞所見としては、小型類円形細胞が偽ロゼット様、乳頭様配列を呈して出現していた。核は軽度腫大し、クロマチン顆粒状、軽度の核形不整を認めた。Solid pseudopapillary neoplasmとの鑑別に苦慮する像であったため、細胞像の比較検討を行い報告する。

13:40~14:10 一般演題 (II)

座長 濱島 丈 (富山大学医学薬学研究部 病態・病理学)

5. 尿細胞診におけるフラクタル解析の有用性

下田翼、水口敬司、嶋口智恵、酒野香織、森龍也、中田聡子、野島孝之、池田博子

金沢大学附属病院 病理診断科/病理部

尿細胞診は反応性変化や細胞変性の影響で、細胞検査士間で判定が異なることが多く、経験による差が生じやすい材料である。今回我々はより客観的な評価を目指してフラクタル解析を用いた良悪鑑別の検討をおこなった。方法は、細胞を対物 100 倍で撮影し画像解析ソフトを用いて①細胞フラクタル値、②核形フラクタル値を測定し、統計処理をおこなった。その結果、良性と悪性の間に有意差が認められ診断に有用であることが示唆された。

6. 腎盂癌の診断に苦慮した神経線維腫症 1 型 (NF-1) 患者の 1 例

福田弘幸¹⁾、古村貴大¹⁾、山城真磯¹⁾、杉口祐恵¹⁾、三井由紀子¹⁾、西田秀昭¹⁾、
垣内寿枝子²⁾、中嶋隆彦²⁾、寺畑信太郎²⁾
市立砺波総合病院 ¹⁾臨床病理科、²⁾病理診断科

60 代男性、NF-1 患者。腰痛を主訴に受診した。両側副腎腫瘍 (疑い)、傍大動脈リンパ節と胸椎転移、胸椎圧迫骨折が指摘された。超音波ガイド下に生検された後腹膜腫瘍の捺印細胞診で腺癌を疑った。その後、両下肢麻痺が増悪したため施行された胸椎除圧、固定術材料の捺印細胞診では尿路上皮癌も鑑別に挙げた。組織学的に尿路上皮癌が確認され、腎盂癌と診断した。尿路上皮癌と腺癌の鑑別について文献的考察を含めて報告する。

7. 子宮体部に発生した神経内分泌腫瘍への偏倚を伴う卵黄嚢腫瘍 (yolk sac tumor) の一例

内山莉奈¹⁾、石澤 伸³⁾、宮本藤之¹⁾、矢野彩子¹⁾、清水雅彦¹⁾、酒井哲也¹⁾、
南 里恵²⁾、飴谷由佳²⁾、中西ゆう子³⁾、内山明央³⁾
所属：富山県立中央病院 ¹⁾検査科 ²⁾産婦人科 ³⁾病理診断科

症例は 70 代女性、子宮内膜・頸部細胞診、子宮腔部組織診において腺癌が疑われたため広範子宮全摘術が施行された。術後組織診では yolk sac tumor with neuroendocrine differentiation の診断であった。術後組織診と術前の細胞像を検討したところ、細胞診で見られた細胞密度が高く、細胞境界が不明瞭でクロマチンが増加した核の重積を伴う所見は組織診で表層の一部に見られた成分由来であることが示唆された。

14 : 15~14 : 30 総会

14 : 45~15 : 45 特別講演

座長 石澤 伸 (富山県立中央病院病理診断科)

「尿細胞診における尿路上皮癌の異型度判定を考える」

村田 晋一 先生 (和歌山県立医科大学・人体病理学教室／病理診断科)

16 : 00~17 : 00 スライドセミナー

座長 齋藤 勝彦 (富山市民病院 病理診断科)

- | | | | |
|----|-------|---------------------|--------|
| 1. | 出題者 | 福井県立病院 病理診断科 | 小上 瑛也 |
| | 指定回答者 | 金沢大学医薬保健研究域医学系人体病理学 | 高橋 健太 |
| 2. | 出題者 | 金沢大学医学部附属病院病理部 | 池田 博子 |
| | 指定回答者 | 富山大学附属病院 病理部病理診断科 | 浜田 桂司 |
| 3. | 出題者 | 厚生連高岡病院 病理診断科 | 野本 一博 |
| | 指定回答者 | 公立丹南病院 臨床検査室 | 山内 美紗代 |

17 : 00 閉会の辞

石澤 伸 (富山県立中央病院 病理診断科)

【参加者の方へのお願い】

1. 一般会員・未入会員の方へ

原則 Web 参加と致します。

以下のリンクより、参加登録（Zoom ビデオウェビナー）と参加費支払（¥1,000/PayPal 経由）を行ってください。

=====

開催時刻：2021年9月5日 12:30 大阪、札幌、東京
トピック：第37回日本臨床細胞学会北陸連合会学術集会
このウェビナーに事前登録する：



https://zoom.us/webinar/register/WN_g9WbhTF9QweKpbvc4Md0ww

=====

※ PayPal で『続行』を押下した後、『回答待機中』という画面で“30秒～数分”かかることがあります。

※ Zoom 登録完了・PayPal 支払受領メールが届いていれば、正常に登録されています。

※ クレジットカードの登録情報等が古い場合には支払いが正常に進行しない可能性がありますので、PayPal を最近お使いでない場合はご注意ください。

※ PayPal 送金では、名前、メールアドレスの他、**配送住所 (shipping address)** が受取側に送信されます。配送住所を自宅以外（病院等、架空でも可のようです。）に設定ください。住所は複数登録できます。

なお PayPal の登録方法は下記サイトを参照ください。

<https://www.paypal.com/jp/webapps/mpp/personal/how-to-signup-personal>

参加証および領収証

会終了後、zoom ウェビナーで登録いただいたアドレス宛に参加証および領収書をお送りいたします。

※単位認定のため参加者名簿を学会に報告する必要があります。Zoom ミーティングに参加する名前は**本名**でお願いします。名前が確認出来ない場合単位認定されない可能性があります。産婦人科学会単位を希望される先生は会員番号も必要ですので下記注意をご覧ください。

2. 演者の方へ

- 一般演題発表時間は7分以内、討論時間は3分です。
 - スライドセミナー発表時間は、発表、指定回答、討論合わせて15分を目安としています。
- 詳細は別途メールにて連絡致します。

3. 細胞検査士の方へ

- JSC 15単位、IAC 4単位が認定されます。
- Web参加者への出席シールの授与は後日事務局から送付致します。

4. 細胞診専門医の方へ

- 細胞診専門医資格更新2単位が認定されます。

○ 日本産婦人科学会専門医制度研修単位は、学会単位：10単位、機構認定参加単位：1単位が認定されます。

(注意)参加登録及び出席証明に zoom 接続記録を日本産婦人科学会に提出します。単位を希望される参加者は、zoom ミーティングに参加する名前を、**本名+会員番号** (日本産婦人科学会) としてください。医会のシールは配布しません。

〈連絡先〉

世話人：富山県立中央病院・病理診断科 石澤 伸

TEL：076-424-1531 FAX：076-491-7117

E-mail：sishizawa-path@umin.net

事務局：石川県立中央病院病理検査室

TEL：076-237-8211 (内線 2050)

FAX：076-238-5366

E-mail：cytooffice@ipch.jp
